

環境に係る情報協議会

国営かんがい排水事業 清川二期地区

1. 環境に対する考え方

《農村環境の現状と課題》 (帯広市「田園環境整備マスタープラン」より)

【現状】

十勝平野のほぼ中央に位置し、日高山麓の広大な森林と十勝川・札内川のさわやかな清流に恵まれ、四季の変化に富んだ気候と豊かな自然環境を形成している。

【課題】

すぐれた自然、残された自然の保全とともに自然と共存したよりよい生活環境の整備、自然を活用した開発計画、自然環境の再生復元が課題である。

これら課題の対応にあたっては、土地利用、都市計画、地域振興、観光開発、その他環境整備や防災事業、開発との調整が不可欠となっている。

《環境保全の基本的考え方》 (帯広市「田園環境整備マスタープラン」より)

生産を支える場としての機能を維持するとともに、生産基盤の整備を行うにあたっては、自然に配慮した工法を積極的に採用し、環境と調和した農業の展開を目指す。

2. 環境配慮計画の策定に向けた調査

《基本方針》

○ 調査位置の考え方

排水路代表：水路周辺は農地。本地域の標準的な水路環境であり、路線の最下流部にあるため、最も多くの魚種が確認されると考えられる。

防風林隣接：樹林により木陰が形成され、水路内の底生生物及び魚類に良好な生息環境であることが想定される。
また排水路の拡幅に伴い、伐採や掘り起こしなど防風林内に生育する植物に直接的な影響を与える可能性がある。

○ 調査項目の考え方

既往調査結果の活用を基本とする。

整備に伴い生育・生息環境に直接影響を与えることが想定される魚類、底生動物及び植物並びに調査が不足している水質について現地調査を実施する。

《環境調査内容》

○調査項目 ①魚類 ②底生動物 ③植物 ④水質

○調査方法
魚 類：採捕調査
底 生 動 物：定性採集法
植 物：植物相調査
水 質：SS、濁度